

新しい学校を創り出すのはだれですか？

学校経営の基盤

- (1) 公教育の立場を踏まえて
(2) 時代の要請に応える、新しい学校教育の創造を
(3) 新学習指導要領への対応

自ら困難に立ち向かい、今できることを見出し、自らすることを決めて、行動できる子供の育成

自ら考え 心豊かで たくましい子供の育成

令和2年度自己評価より

(子) 学習内容が理解できるようになった(86%)が多いのに、テストの点に反映されない→読み取る力が弱いから→もっと読む力や書く力をつけていく必要がある。
(保) 家庭での生活・学習リズム作り(約75%)が難しい→「指示命令」より「自ら考える、自己決定する」主体性を重視する。
(教) まとめや振り返りをノートに書く(57%)が低かった。もっと「書く時間」を確保するための授業力アップを図る。
(教) 困難な時代から逃げず、子供自ら、考え行動できるように、行事づくりを柱に主体性の育成に取り組む。

校区の特性

○古くより長崎街道の追分宿場町として栄えた文化がある。
○熱意をもって指導すれば気持ちが伝わる心意気をもった校区。
○産炭地として栄え、近代社会を支えた。
○住宅地でありながらも、豊かな自然に囲まれている。そばに遠賀川、笹尾川、黒川が流れ、校内に昆虫や野鳥が姿を見せる。

令和3年度バリュー <<新しい自分を創り出す>>

- 自分・状況を知る(自己認識)
決める・行動する(自己決定)
振り返る・伝える(自己創出)

アイデアに価値はない。それを実行できてはじめて価値になる

Google 共同創業者ラリー・ペーシ

サイエンス 思考力・決定力
スポーツ 行動力・忍耐力
アート 創造力・表現力
パーソナリティ 集団力・人間性
プロフトライフ 全ての基盤

「なぜ学ぶのか」

「なぜそろえるのか」

「なぜつながるのか」

人生を楽しむため 【選択の場面→良い選択ができる】

- ① 人生には選択する場面がたくさんある
② 知識と経験
③ 見通す力
④ 決定する力
⑤ 実行する力
⑥ 振り返り・自己認識する力
⑦ 振り返って最悪の人生だった・最高の人生だったと思うのも選択の一つ

深い学びには仲間の力が必要だから 【集団で効率よく学ぶ条件】

- ① 上級生が作る学校
② 笑顔のあいさつ(木屋瀬中学校区の目標～あいさつ日本一)
③ そうじ・そろえる→感謝で指導する
④ コグトレ、対人スキルアップ(仲間を育てる言葉の力)
⑤ 木屋瀬中校区授業5則も「なぜ」から始め、結果からなぜの意味に戻る
⑥ 木屋瀬小学校みんなのルール「なぜ」を徹底

成長は学校だけではできないから 【子供のつながりにつながる】

- ① 子供と
② 保護者と
③ 地域と
④ 管理職、教職員と
⑤ 学校外と
⑥ 保・幼、中と
⑦ 各種サークル、市教委、文科省等と

健康・安全教育の充実

- ・ コロナウイルス対応、NO!3密、検温・健康観察重視
・ 8:35までに健康観察、8:40までに居所把握。
・ 怪我は原因究明し、保護者へ当日必ず連絡する。(連絡帳は×)
・ 怪我の病院行、病気の帰宅は管理職に必ず相談を。
・ 不登校対応;タブレットの活用、定期的な連絡を欠かさない
・ 安全管理(月一回)、防災訓練(学期一回)

教師の働き方改革→子ども主体の学校へ

- ・ 持合い授業→学級を超えての指導が当たり前
・ 学校行事の見直し;プログラムを見直し練習時間を削減、
・ 時間外勤務月45時間・年360時間以内、年休5日以上、土・日報告
・ 学年定時退校〇曜日、主任が帰る努力を
・ 会議削減、伝達は短く、白板に書く、意見は短く
・ 空いた時間で教材研究、研究会やサークルに参加し自己研鑽に努める

食育の推進

- ・ 食後の歯磨き、手洗い習慣化、もう一口運動のススメ
・ 給食時間(12:20~13:05)13:20までに終わる
・ アレルギー誤食防2重、3重のチェック
・ アレルギー対応おかわり禁止、食中毒、異物混入の防止(引率)
・ 調理や火気を使うときには管理職へ事前連絡

今年は;①新しい子供主体の行事づくり(運動会・発表会)、②様々な場面で自己決定する力→全国一の防災教育研究指定校へ、③コグトレの指定校(広島大学との連携)、④思考力を育てる生活科・理科ノート、自学、フェスタ